

授業計画書(シラバス)

教科名	ガラス工芸史	曜日 時間		担当者名	畠山 耕造
-----	--------	----------	--	------	-------

	前期指導案			後期指導案	
(年間 2 回 7 授 業 日)	4月			10月	
	5月			11月	
	6月			12月	
	7月	25、26、28、29		1月	
	9月			2月	
方授 法業	((講義) ・ 実技)			(講義 ・ 実技)	
授 業 内 容	古代から現代に至るガラス工芸史 1. 古代オリエントのガラス 2. ローマ時代のガラス 3. 中世ヨーロッパのガラス 4. ビザンティンのガラス 5. ササン朝ペルシャのガラス 6. イスラムのガラス 7. ヴェネチアのガラス 8. 近世のガラス: ボヘミアとドイツ 9. 近世のガラス: フランスとイギリス 10. 19世紀のヨーロッパのガラス 11. アール・ヌーヴォーのガラス 12. アール・デコとモダニズムのガラス 13. チェコのガラス造形運動 14. スタジオグラス運動の展開 15. 近代日本のガラス 16. 現代日本のガラス				
到 達 目 標	1. 各時代の大きな流れを把握する。 2. 各時代に生じた、ガラス工芸史上で画期的な意味を持つ事象を把握する。 3. 各時代を代表する工房や作家たちの作品の理解を深める。				
成 績 準 評 価	出席状況/学習意欲/歴史上の画期的な事象の理解力/作家や工房の画期的な仕事の理解力/論理的な論述能力/独創的な着眼点など				
留 意 事 項					